

今年度は、いろいろな空間を職員そして子どもたちと一緒に考え、工夫して楽しい空間にしていこうと実行中です。

先月園だよりでお知らせした第一弾の園庭の棚。いったいどんな風になったでしょう？

まずは、ペットボトル・カップなど身近な廃材を置いてみよう



すると…。

興味津々の子どもたちの姿が…。

様ざまな人の協力で棚の中はいろんなものでいっぱい。

そして、あそびへと広がっています。



保護者の方からも、廃材を募集しています。こんなおもしろいものあるけど子どもたち遊べないかな？というものがありましたらぜひ担任まで声をかけてください。子どもたちの夢中になる姿をこれからもお届けしていきますね。

今よりもっと楽しくを大切に

コロナウイルスの影響で、5月も登園自粛延長となりましたが、保護者の皆様には引き続きご理解とご協力いただいておりますことに心から感謝いたします。緊急事態宣言の解除を受け、少しずつ収束の兆しが見えてきているようですが、気を緩めることなく継続して園でも玩具の消毒や換気など徹底していきたくております。保護者の皆様におかれましては、引き続き、検温、マスクの着用、手指消毒にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて先日、園舎そばを通りかかった地域の方が「ようやく子どもたちの元気な声が聞こえてきましたね。子どもたちの声はいいですね。」と声をかけてくださりました。今までであれば当たり前のように聞こえていた声も、コロナの影響で、園舎の中は静まりかえっていた為、地域の方から頂いた言葉にとってもあたたかい気持ちになりました。そして、子どもたちの元気な声を今以上に大切にしていかなければいけないと感じた瞬間でした。まだまだ様々なことが自粛ムードで、保育園においては、楽しみにしていた行事が延期や中止となっていますが、出来ないことに着目するのではなく、この状況だからこそ出来ることはないか、子どもたちとそして保護者の方々と楽しいことができないか、職員と日々話をしながら計画しています。

そのひとつとして、先日“手洗いを子どもたちと楽しくやりたい”という職員の提案から、歌を作ってみてはとアイデアが広がり、年長さんの協力のもと、第二みみょう保育園の手洗いの歌が完成しました。近々おうちで、子どもたちが口ずさむ姿が見られるのではないかと思います。いつも習慣に行う手洗いも、歌を口ずさむとなんだか楽しくなり笑顔がこぼれてしまいます。こうした今だからこそ、当たり前に行うことも、より楽しくしていくために私たちも日々様ざまなことを工夫しながら挑戦していきたいと思っています。後日きつずノートで歌を配信しますので、楽しみにしていってくださいね。

今年度のみみょうグループのテーマは引き続き「0歳からの幼児教育～選択と集中～そして」です。

赤ちゃんの時から、好きな大人との愛着を基盤に子どもたちは様ざまなものに興味関心を抱き、自らやってみたくて試したり考えたり、工夫していきます。今、園庭においても、乳児さんは、あちこち探索しながら、蛇口から出てくる水に背伸びして手を伸ばし、水が手に触れる感触や冷たさを味わったり、花壇の下に虫がいることを発見し、地面に全身をくっつけて覗き込んだりと興味を持ったことに小さな身体をめいっぱい使って試しています。幼児組の子どもたちは、虫探しに泥だんご作り、色水あそびと一人ひとりの子どもが、やりたいという気持ちを発揮し、泥だんごづくりでは、最初は、なかなか砂が手の中で固まらず試行錯誤していましたが、水の量を増やしたり、握る加減を変えてみたり、時には砂の違いに気づき、場所を変えながら作るなど、作る過程の中で、考え工夫し何度も繰り返し試しています。私たちは、こうした子どもたちの姿を日々大切に、保育の中で繋げていながら、“今日はこれして遊びたい”と毎日保育園に行くことがわくわくするような保育を目指していきたいと思っています。

そして、保護者の皆さまにも子どもたちの夢中で遊びこむ姿を1階ロビーのモニターやきつずノートなどでお届けしていきながら一緒に喜びあい、語り合えたらと思います。

最後になりましたが、今年度より、第二みみょう保育園の主任になりました。岩槻由紀です。子どもたち、職員はもちろん保護者の皆様と一緒に毎日がワクワクするような楽しい保育を進めていきたいと思っています。何かありましたらいつでも声をかけていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

主任



子育て応援メッセージ

小さいときは手をかけて
大きくなったら心をかける

髪を結んであげたり、抱っこしたり、小さい時は手をかけてあげることができます。でも、大きくなるにつれて子どもは手から離れていきます。その分、心をかけてあげましょう。心の成長は、大人になるための大切なステップですから。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ
お母さん」より
いろは出版

地震・水害に備えよう

消さないで
あなたの心の
注意の火



広島市南消防署
警防課 救助係